

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369



日の出山頂の春、日の出山開き 日の出山系に残る伝説のパフォーマンス

平将門伝説にまつわる
パフォーマンス
撮影：日の出山の会
星野 功さん(大久野在住)
撮影場所：日の出山頂

平成 27 年 第 1 回定例会

介護保険に関する条例など

29件の議案を審議 2P

平成27年度予算案を審査 予算決算常任委員会の要旨 5P

一般質問 「町政を問う」12人の議員 9P

定例会

審議内容

3月2日から3月16日までの15日間の会期で開催されました。今回の定例会では、29件の町長提出議案を審議し、すべて原案通り可決し、1件の陳情については不採択となりました。

主な議案として、条例では介護保険法等の改正に伴い、以下の通り新規条例2件、改正3件が可決されました。

これは、従来厚生労働省で定めていた指定介護予防支援事業者等について、町が指定することとなったため、条例を制定・改正するものです。

予算として、平成27年度一般会計予算(87億9千万円)、特別会計予算(50億1千8百万円)及び平成26年度補正予算が審議されました。

また、第四次日の出町長期総合計画後期基本計画の策定についても審議されました。

条例の制定

- ・日の出町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例 …… 可決

- ・日の出町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例 …… 可決

右記の2条例については、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の改正により制定するもの。

- ・東雲山荘の設置及び管理に関する条例 …… 可決

東雲山荘の設置及び管理に関する規定を整備するもの。

条例の一部改正

- ・日の出町職員の旅費に関する条例 …… 可決

臨時的任用職員について加えたもの。

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する

法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 …… 可決

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い改正するもの。

- ・日の出町行政手続条例 …… 可決

行政手続法の改正に伴い改正するもの。

- ・日の出町ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例等 …… 可決

第三者行為によって生じた場合の医療費助成の実施、求償の規定について明確にするもの。

- ・日の出町介護保険条例 …… 可決

介護保険料に関する法律の経過措置に伴い改正するもの。

- ・日の出町指定地域密着型介護予防サービスの人員、設備及び運営に関する基準を定める条例 …… 可決

介護保険法の改正に伴い改正するもの。

- ・日の出町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 …… 可決

介護保険法の改正に伴い改正するもの。

・日の出町事務手数料条例

可決

農地台帳の閲覧等の手数料を徴収するため。

・日の出町進学支度金貸付基金条例

可決

進学支度金の貸付制度の充実を図るため。

・日の出町文化財保護条例

可決

「日の出町歴史文化基本構想」の提言に伴い改正するもの。



玉の内の獅子舞

・日の出町職員の給与に関する条例

可決

給料表の水準を平均1.7%引下げ

平成27年度当初予算

平成27年度日の出町一般会計及び各特別会計の当初予算総額138億800万円を可決
(詳細についてはP55~P8)

平成26年度補正予算

3月2日予算決算常任委員会で審査され、同日、本会議で審議されました。

平成26年度日の出町一般会計補正予算(第4号)

可決
歳入歳出それぞれ2千9百万円を減額。

平成26年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

可決
歳入歳出それぞれ2千4百90万円を追加。

平成26年度日の出町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

可決
歳入歳出それぞれ1千万7千円を減額。

平成26年度日の出町介護保険特別

会計補正予算(第3号)

可決

歳入歳出それぞれ91万3千円を減額。

平成26年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

可決

歳入歳出それぞれ1千3百21万8千円を追加。

基本計画の策定

第四次日の出町長期総合計画後期基本計画の策定について

前期基本計画が平成26年度で終了することに伴い、後期基本計画を定めるため。

生涯にわたって健康で安心に暮らせる町・若者もいきいき定住する町・人と文化が輝くわたしのふるさとひのを目標とした、平成27年度から31年度までの後期基本計画を定めるもの。

規約の変更等

左記については、秋川衛生組合の解散に伴い、地方公共団体の数が減

少するため。

・東京都町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び東京都町村公平委員会共同設置規約の変更について

可決

・東京都町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び東京都町村職員退職手当組合規約の変更について

可決

・東京都町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び東京都町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

可決

陳情

3月3日に総務まちづくり常任委員会・厚生文教常任委員会を開催し、陳情について審査され、3月16日の本会議で審議されました。

・子どもにとっての「子ども・子育て支援新制度」とするための陳情書

不採択

議 案 と 結 果

＜町長提出議案＞

○…賛成 ×…反対 欠…欠席

番号	議 案 名	自	政	公	町	共	志	新	結 果
1	日の出町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
2	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
3	日の出町行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
4	日の出町ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
5	日の出町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	○	○	○	○	×	欠	－	可決
6	日の出町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
7	日の出町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	欠	－	可決
8	日の出町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
9	日の出町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
10	日の出町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
11	東雲山荘の設置及び管理に関する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
12	日の出町事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
13	日の出町進学支度金貸付基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
14	日の出町文化財保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決
15	平成 26 年度日の出町一般会計補正予算（第 4 号）	○	○	○	○	○	欠	－	可決
16	平成 26 年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	欠	－	可決
17	平成 26 年度日の出町下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	欠	－	可決
18	平成 26 年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	欠	－	可決
19	平成 26 年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	欠	－	可決
20	平成 27 年度日の出町一般会計予算	○	○	○	○	○	欠	－	可決
21	平成 27 年度日の出町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	欠	－	可決
22	平成 27 年度日の出町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	欠	－	可決
23	平成 27 年度日の出町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	欠	－	可決
24	平成 27 年度日の出町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	欠	－	可決
25	第四次日の出町長期総合計画後期基本計画の策定について	○	○	○	○	○	欠	－	可決
26	東京都市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更について	○	○	○	○	○	欠	－	可決
27	東京都市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び東京都市町村職員退職手当組合規約の変更について	○	○	○	○	○	欠	－	可決
28	東京都市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び東京都市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	○	○	○	○	○	欠	－	可決
29	日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	－	可決

※一新の会（新）については議長を務めているため採決には参加していない。

＜陳 情＞

番 号	陳 情 名	陳 情 者	審議結果
26 陳情第 13 号	子どもにとっての「子ども・子育て支援新制度」とするための陳情書	全国福祉保育労働組合 東京地方本部西多摩支部 執行委員長 後藤京子	不 採 択

＜各会派の名称と所属議員＞

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	
自民蒼政クラブ	自	★ 平野隆史・星野 茂・小玉正義・東 玉喜・川脇敏徳	5 人
政 和 会	政	★ 濱中映慈・神田芳男・濱田敏郎	3 人
公 明 党	公	★ 大澤言枝・嘉倉 治	2 人
町 民 党	町	★ 田村みさ子・青鹿和男	2 人
日 本 共 産 党	共	★ 折田真知子	1 人
志 政 会	志	★ 森田征四	1 人
一 新 の 会	新	★ 加藤光徳	1 人

平成27年度 一般会計予算

「躍進ひので！ニュー5大作戦」の主な施策
 87億9千万円を計上 対前年度比1億9千9百万円（2.2%）の減
 （公民館建設事業の終了による減少など）

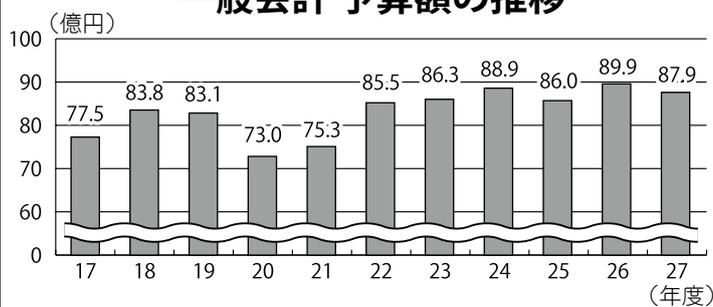
歳入の主なもの

町 税	26億9178万円
地方消費税	3億7750万円
交付金	6億7413万円
地方交付税	6億7413万円
国庫支出金	7億743万円
都支出金	18億1925万円
財産収入	1億4173万円
繰入金	2億3883万円
諸収入	10億9013万円
町債	6億4319万円
その他	4億603万円

歳出の主なもの

新規事業	
元気健康長生き医療費助成事業	6178万円
太陽光発電システム等設置事業	1843万円
屋内運動場非構造部材耐震化事業	1億1985万円
継続事業	
がん医療費助成事業	2370万円
高齢者医療費助成事業	9295万円
こども医療費助成	6620万円
次世代育成クーポン事業	2億8894万円
青少年育成支援事業	4810万円
勝峰山林道開設事業	4749万円
防災行政無線関係	8310万円
町営住宅建設	1億1091万円

一般会計予算額の推移



今年の予算は
こうなるよ



27年度各会計

会計名		平成27年度当初予算額	平成26年度当初予算額	増減率
一般会計		87億9000万円	89億8900万円	-2.2%
特別会計	国民健康保険	25億400万円	21億6400万円	+15.7%
	下水道事業	9億100万円	9億1100万円	-1.1%
	介護保険	12億5200万円	11億6200万円	+7.7%
	後期高齢者医療	3億6100万円	3億4000万円	+6.2%
	計	50億1800万円	45億7700万円	+9.6%
合計		138億800万円	135億6600万円	+1.8%

3月9日10日の2日間にわたり、予算決算常任委員会が開催され、歳入歳出に対して慎重な質疑が行われた。
3月16日の最終日には、委員長から審査結果の報告の後、質疑を受け、採決の結果、一般会計は全会一致、各特別会計についても全てが可決されました。

主な 質疑 Q&A

一般会計

Q 経常収支比率について。

A 経常一般財源総額の増で、前年度対比3.2ポイント改善113・7%となった。また、循環組合からの地域振興費10億円を経常一般財源総額に加算した場合94・0%となる予定である。

A Q 歳入の確保について。少子化の中で、出生

率の向上など福祉的な施策を実施し、一定の成果を上げている。今後、町の資源に着目し、政策に結び付けての取り組みが必要であり、歳入確保につなげていきたい。

Q 地方債の借り入れと今後の見込みは。

A 27年度は、臨時財政対策債・防災行政無線固定系デジタル移行事業債など、建設事業債4件、総額で

6億4千万円余を借り入れる予定。なお、建設事業債は、世代間の負担の公平の観点から借りている。地方債残高は、今後も減少見込み。

Q 受益者負担の適正化について。

A 今年度から東雲山荘、やまびこホールの使用料を計上している。今後、各課の使用料等のあり方について、適正化検討委員会で算定方法の検証を行っていく。

Q 空き家対策特別措置法について。
A 住居に関わる6分の1の軽減措置が廃止となる。前提として、自治体で特定空き家の指定が必要となる。

Q 滞納繰越分の対応について。

A 納税交渉・納税計画・催告、不能欠損など行う中、近年は徐々に減りつつある。今後も積極的に滞納繰越を減らす努力をしていく。

Q 土地開発公社の土地代金の支払いは。

A 来年度で終了の予定で、元金と利子合わせて約1億2千395万円の予定。

Q 合併60周年事業について。

A 実行委員会に記念事業の特別補助金を上乘せする。内容はこれから実行委員会で検討し

ていく。
Q 町の職員数について。

A 現在は派遣職員等も含めると188人であるが、今後、退職者の再任用等も考え、基本的には160人台で推移していきたいと考えている。

Q 第3セクター関係経費について。

A 関係経費は業務派遣委託料、給食センター関係があり、それ以外の事務費や人件費は企画財政課で予算を組んでいる。



やまびこホール



給食センターの作業風景

Q 社会保障と税番号システム
の状況は。

A 本年7月より住民基本台帳のデータの吸い上げを始め、地方公共団体情報システム機構で一括して10月に全国民に個人番号通知カードを発送し、その中の申請書を機構に申請をして、役場がカードを発行する予定である。尚、税番号については29年7月から運用予定である。

Q 増戸駅、引田駅のトイレ管理委託について。

A 各駅のトイレ維持管理負担金は、あきる野市と日の出町で折半となっている。

Q 住宅用太陽エネルギー助成金について。

A 今までキロ4万円の3キロまでの補助だったが、大型化のご家庭が増えたことにより、

キロ2万5千円の4キロまでにする方向で考えている。申し込み期限は12月末頃で、ほぼ抽選をしなくてもいけると考えている。

Q 元気健康長生き医療費助成金について。

A 医療費の伸びは考慮しないで、自己負担限度額の2千円と助成対象者を85%程度、医療費負担が1割から2割への移行も踏まえて計算すると27年が6千万円で、ピーク時の33年で約9千万円と推測する。

Q 臨時福祉給付金について。

A 消費税が5%から8%に負担が増加したことにより、非課税世帯の低所得者に対しての給付を平成27年度も行う。見込みは2千700人。

Q 障害者就労生活支援センターの実績は。

A ご相談などいろいろな細かい内容はあるが、1月末での登録者は2名、2月末の新規登録で7名の計9名となる。

Q がん検診委託料について。

A 現行通りの集団検診と女性の検診については、コール・リコーの継続を考慮しており、乳がんと子宮がんのセット検診ができるように交渉している。がん検診の費用は、概ね50%の受診者を見込み、予算枠は十分ある。

Q 高齢者外出支援バス運転委託について。

A 今後シルバー人材センターでは、受託ができなくなり、委託先を第3セクターに変更する。シルバーから第3セクターに移行できる

運転手は移行し、技能チェック等を並行して進めている。



高齢者外出支援バス

Q 平井橋補修工事について。

A 築造後80数年を経ている。修繕化計画を委託したところ、可能とすることで、床版（橋の上を通る車等の重みを橋げたや橋脚に伝えるための床板）の下地処理、舗装の打ち換えを行なう。塗装のやり直しも含み、当分通行止めとなる。

Q ひのでグリーンプラザ太陽光発電工事について。

A 防災・災害時の避難所の条件で、太陽光パネルは5キロワットで5百万円、蓄電池は10キロワットで1千万円の助成を受けることになる。

Q 行政カードの内容は。

A ポイントカード強化ということで、東京都の補助を受け、町の諸施策に使えるよう、商工会や町の担当課と話し合い、具体化したい。

Q 北大久野川流域振興事業経費について。

A 北大久野川流域と平井川流域の肝要を一体化し、トンネルを活用した観光振興計画を作っていきたい。

平成 27 年度当初予算を集中審議

Q 諏訪下住宅建設工事の日程は。

A 入札時期は6月から7月を予定し指名競争入札とする。4年にわたる工事になる。地元業者も建設が可能と考えている。入居者に対する移転費は、都の公団住宅の場合と同額の引越し費用として、1件17万1千円を予定し、7軒が該当する。



諏訪下町営住宅

Q ふれあい農園について。

A 設計委託と土壌改良の関係で予算は1千

50万円組んである。都の総合交付金まわりの振興割を920万円充当することになっていく。農業を行なうにあたっての有効な過程の事業と考えている。

Q 西多摩全体の教育費の割合に対して日の出町の割合は。

A 学校要望は、財政事情を考慮しながら要望頂いた中でその部分については100%計上している。教育委員会としては努力しているが、西多摩地区の各市町村と比べて高いとは言えない状況。

Q 今後の埋蔵文化財の確認は。

A 今年1〜2月に資料の整理をした。その部分をデータ化整理したものを製本しそれを使っていく。

Q スクールソーシャルワーカーについて。

A 26年度から都の補助金を活用し始めた事業。教育相談室の臨床心理士が各学校や福祉関係部門と連携し相談事業にあたる。臨床心理士は各学校で発達障害をもつ子どもさんの保護者からの相談、本人との面談を行う。

Q 小さな蔵の資料館について。

A 魅力ある資料館にするために展示物を変化させ、登録文化財制度



小さな蔵の資料館

も活用し、町の歴史的なものを展示していく。

Q 平井小学校ボランティア推進事業について。

A 平井小学校のみ実施している。見回りボランティア、校内ボランティアで活動している方の消耗品購入。運営協議会でのボランティア活動等、都の補助金を活用した事業。

下水道事業

Q 下水道管の耐用年数は。

A 管路等の維持の耐用年数は、一般的に50年という形で、検討、対応している。

Q 下水道使用料の試算について。

A 条例で定めた減量認定の関係については、水道料金で請求すべきところを、「製品で使った水」「ボイラーで蒸発してしまった水」等は下水道に流れないので、そういったものが控除された料金となっている。

特別会計

国民健康保険

Q 滞納の状況は。

A 保険税改定は24・25年度と行っている。滞納への影響は24年度は前年と比較して0.1%の増、25年度は0.3%の減である。この増減は通常発生しているレベルであり、改定による影響は特に出てない。

Q 水道管のインフラ整備は。

A 東京都の水道局の水道管の取り替えについては、10か年の耐震化計画という形で、毎年計画路線を定めて対応している。

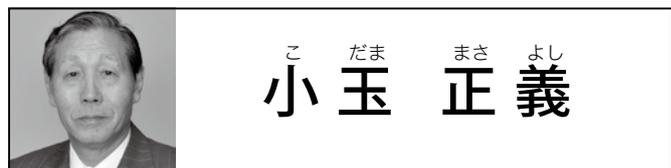
一般質問

12人の議員

町政を問う

要旨

人材育成制度について
 質 目標管理自己申告制度の進行状況は。
 課長 全員で取り組んでおり、予定どおり進んでいる。平成28年4月の本格運用に向け、種々の研修を実施するとともに、予定どおりに進める計画である。
 質 自己申告制度で取り組んできたテーマで、良かったと思われる目標事例を3例あげて欲しい。



課長 ①職員向けの研修を自ら行う事を目標とし、資料の作成から開催までを行い、知識の向上及び情報の共有が図れた。②業務知識や情報を手引書にまとめ、ネットワークに掲載し、知識の向上及び情報の共有が図れた。③メール配信登録件数の拡大を数値目標に掲げ、達成できた事例等がある。
 質 現時点で遅れていたり、又は非常に難しいポイントは何か。
 課長 評価の客観性と公平性の部分に課題がある。その課題をクリ



研修の様子

アするため、5人の課長がグループで部下の評価を行い、評価者の基準合わせを行っている。
 質 今後の人材育成計画について。
 課長 この町の人材育成基本方針の中で、今現在、少数精鋭による組織運営が求められている。職員同士の情報交換や、上司や部下の間での指導・育成を行うなど、仕事を通じて職員の仕事の質の向上などを図るため、「OJT」研修というのが非常に有効な手段であると理解している。

OJT研修とは
 職場において、上司、先輩等が仕事を通じて必要な知識、技能、態度などを継続的に指導し習得させること。



濱中 映慈

地元商店の対策を問う

質 医療費無料化制度にある福祉増進事業を地元商店に活かすべきと考えるがお考えは。

町長 最重要施策の70歳〜75歳未満の方の医療費助成で、一定期間、医療費の助成を必要としなかった方に、報奨制度を定めている。この制度を利用し、新たに発行される「(仮称)行政カード」にポイントを付与し地元商店で活用して頂きたいと考えている。

質 住民健診等を受診した方にポイント付与は可能か。

課長 特定健診については目標を掲げ実施しており、受診率向上対策の一つとしてポイントを付与し、自らの健康管理、健康づくりにつなげて頂きたい。

質 地方版総合戦略の内容とプレミアム商品券について。

町長 計画期間は平成27年度から5年で、創生の目標、施策の基本的方向、客観的な指標を記載し、効果検証の実施をする。プレミアム商品券は商工会への補助事業とし、高い消費喚起効果と町内商店

の振興及び活性化を見込んでいます。
処分場関係26市町への行脚行動を問う

質 理由と対応状況は。

町長 谷戸沢処分場の供用開始から30年を迎え、循環組合を構成する26市町の首長を訪問し安全管理・運用の継続と受け入れ当時の経緯の共通認識の確認をし、スポーツと文化の森構想の実現に向け協力要請を行った。



町内商店の活性化を



おさむ 治 嘉倉



町内のショッピングセンター

地方創生先行型交付金プレミアム商品券を問う

質 プレミアム商品券の概要、計画は。

町長 町では、日の出町商工会が行うプレミアム付商品券の発行事業に補助を決定した。発行額は1万円で2千円分のプレミアムを付け、1人3冊まで7千

用意するとコストがかかるが、提案はさせて頂く。

質 ショッピングセンターやスーパーの利用に関してはどうか。

課長 大型店舗で利用できる券と利用できない券の2本立てで行う。

質 今後、新たな商工振興発展のため、恒常的に施策として取り入れるべきでは。

課長 事業終了後、消費喚起効果を測定し、前向きに検討したい。

日の出町発「まち・ひと・しごと創生」「地方創生版総合戦略」を問う

質 町が目指す基本的考え、方針について。

課長 町では、今年人口が1万7千人と過去最高を更新した。合計特殊出生率は平成17年の0.88から1.69に上昇し、国の1.43、都の1.13を上回っている。総合戦略は長期総合計画を踏まえ策定する。

課長 多種多様な券を

たむらみさこ
田村みさ子



大久野浄水所

特別職報酬等審議会の開催を問う
質 過去の開催状況は。
町長 直近の開催は平成21年2月でそれ以降は開催していない。
質 議員の手当や政務活動費についても審議すべきだし、毎年、開催すべきではないか。
町長 特別職の報酬等の透明性を確保するた

め、今後は定期的な開催を検討している。
副町長 年に一回開いて現状確認をすることを検討していきたい。
人事行政の運営等の状況の公表を問う
質 公表の目的は。
課長 条例に基づき、人事制度の公平性・透明性を高めるために公表している。

質 職員の仕事の違反者の処分と内容は。
課長 平成25年度の違反者は、地方公務員法32条の職務命令に従う義務違反、同34条の守秘義務違反の2人で、戒告処分とした。

質 分限処分とは。
課長 降任、免職、休職、降給の処分がある。

職員が職務を十分に果たし得ない時、果たすべき職務が存在しなくなった時に、公務の能率的運営を確保するために行う。休職3人は心身の故障による。
大久野浄水所の再開を問う
質 再開の時期は。
課長 昨年8月に整備工事を開始し、自動油分検知装置や活性炭吸着装置等を設置中で、7月中に通水予定である。年2回、町と都の連絡協議会を開催し、水道局との意思疎通や確認等を今後も行っていく。



おおさわ
大澤言枝

東京オリンピック・パラリンピックを問う
質 都より連絡協議会の伝達はあったのか。
町長 昨年7月に設置され、大会成功に向けた支援事業・普及啓発事業等の協議報告を受けている。

質 オリ・パラ開催は、町の活性化につながるか。
町長 谷戸沢サッカー場を練習会場として誘致し、外国人メンバーとの文化交流などが期待される。
質 オリ・パラ教育の推進を。
課長 平成26年度、平井小・中学校が教育推進校に指定を受け、歴史や意義の学習、オリンピック経験者を招いての授業の取組みを行っている。

発達障害教育を問う
質 今後の発達障害の児童・生徒への支援、拡充の取り組みは。
課長 町内全小・中学校に通級学級を設置し、保護者の理解を得ながら入級相談にも務めている。
質 発達障害は保護者や周囲に障害であることを理解されにくいのが、町の取組みは。
課長 保護者への啓発及び教職員等を対象とした研修のほか、スーパーバイザー巡回相談として、専門家の大学教授が各学校に巡回し教員へアドバイスをを行っている。
小中学校の耐震化を問う
質 非構造部材の耐震化事業の進捗状況は。
課長 構造体の耐震化は19年度完了。非構造部材は27年度に全5校の体育館の工事を実施する予定。



練習会場として期待される
谷戸沢サッカー場



濱田敏郎

合併60周年を問う
質 合併60周年の対応について。

町長 合併60周年を向

かえ今年、町民の皆さんが参加でき喜んでいただける、イベントとして「第11回ひので夏まつり」に通常補助金に100万円を限度として、上乗せ補助をする。

老若男女、多くの町民の皆様に参加いただける、合併60周年にふさわしい「ひので夏まつり」としたい。
質 メリット、デメリットについて。

町長 メリットとしては、中長期的な観点で効率的な行財政運営が出来た。デメリットは役場が遠くなり不便になった。中心部だけがよくなって、周辺部が取り残されている。
質 人口動態について



ひので夏まつりの様子(平成26年7月)

町長 合併時の昭和30年は全体で8千4百85人。平成27年は全体で1万7千62人。

質 大久野地域の活性化について。

課長 (仮称)梅ヶ谷トンネルが完成すると、奥多摩・青梅方面を訪れた観光客を、大久野地区に呼び込むためのツールとして肝要

方面と北大久野川流域の往来が便利になることで、観光資源間のネットワークが容易になり周遊性の確保ができる。経済効果は年間1千5百万円程度と見込んでいる。梅ヶ谷トンネルは、工事が着手され順調に進捗すると5〜6年で完成する予定。

合同慰霊祭を問う

質 実施の考えは。

課長 戦後70年という節目にあたり、戦没者追悼式を挙行する。

徳敏 川脇



日の出町新地域防災計画(震災編)とそれに関連する事項を問う

質 立川断層帯地震は

阪神・淡路大震災の何倍程度の地震と想定か。
課長 気象庁マグニチュードでは、約1.4倍の地震と想定する。

質 震源が浅い位置の地震は、震度も被災状況も大きいと言われてる。平井地区から大久野地区にかけて、震度6強から5強を想定



新日の出町地域防災計画

しているが、被災状況の推測について。

課長 旧耐震基準の築34年以上の住宅については、想定震度5強の肝要地区を除いた町内全域で注意が必要。

質 被災想定値の算出基準・根拠は。
課長 東京都による想定数値を準用し算出。

質 要支援者を含め、町内の現況調査や地域特性等を加味し被災想定値を算出しているか。
課長 町職員には、有識者がいない為、都の想定数値のみを準用。

質 町内の耐震化率76%の算出基準・根拠。

課長 耐震改修促進法に基づく全国版推計値から算出した数値。

質 減災目標値達成の施策概要と啓発方法は

課長 耐震化率の向上家具類の転倒・落下・移動防止対策の推進。救出・救護体制の強化。防災訓練、防災無線、広報紙やハザードマップ等による防災啓発普及を繰り返し実施など。

質 本宿小学校のコンクリート構造物にひび割れ等が多く見受けられるが、修繕計画は。

課長 予算の問題もあるが、なるべく早い時期に措置をしたい。



星野のほし
茂のしげる



総合防災訓練の様子(平成26年11月)

町長の循環組合構成自治体への訪問活動を問う
質 活動の主な目的は。
課長 処分場とエコセメント化施設の安全・適正な運用継続の申入れと、スポーツと文化の森設置に対する協力体制の確認等である。

質 訪問の状況と反応。
課長 昨年の11月から本年の1月にかけて構成
質 26市町を訪問。各首長から感謝の念や安全管理徹底とゴミ減量化に取り組んでいくことなどが示された。
防災計画の町民の行動向上を問う
質 自主防災組織の機能の確立が防災の要と考えるが。
課長 防災・減災の最も重要な課題であり、自治会長連合会との連

携で防災リーダー育成研修会等を実施している。
質 他自治体の災害時協力拠点井戸を参考にすべきと考えるが。
課長 災害時の生活用水の供給手段として有効な対策だが、町は5箇所の配水池の水で飲料水を確保でき、対策はある程度図られている。
阿伎留病院企業団運営協議会を問う
質 秋川流域がん対策議員推進連盟が設立された。町長の所感は。
町長 議員連盟発足に賛同し、がん撲滅にむけての議員団の活動に期待する。
引込駅北口区画整理を問う
質 駅周辺は町民の生活圏でもある。町としての要望も少なからずあると考えるが。
課長 原案の説明会は行われたが、現時点であきる野市との協議などは行っていない。



折田のおり
眞知子のま

一般不妊治療と特定不妊治療への町独自助成を問う

質 不妊治療費が家計を圧迫し、治療を断念したとの声がある。

町長 町では「日本一の福祉のまちづくり」

子育て支援の充実」を推進している。非常に重要かつデリケートに問題と認識し、前向きに調査・検討を進める。

公有地の利活用に伴う樹林墓地の整備を問う

質 野鳥の森・こども自然公園内に樹木葬の施設の設置を。

課長 条例上、地方公共団体は申請が可能な団体である。

町長 町の既存の墓地は19箇所あり、既存の墓地は十分、間に合っている。新たな新設は認めない方針である。

耐震診断・耐震改修のほかに、防災シェルター・シェルターベッドの設置助成を問う

質 自助に当たる減災対策として、防災シェルターへの助成を求めている。

課長 近隣自治体の状況や、町の財政状況を考慮し、今後検討

したい。都の耐震ポータルサイトに耐震シェルターを取り上げている。お手軽なものでベッドの周りを金属フレームで覆うものであれば、取付費込みで、30万円ぐらいでできるものがある。

質 耐震診断などの情報発信は十分か。

課長 町のホームページのほか、例えば防災訓練のときに防災シェルターや防災ベッドなどのPRも検討したい。



野鳥の森を望む



平野 隆史

地方創生を問う

質 まち・ひと・しごと創生総合戦略について、国及び東京都から説明等は。

課長 町に東京都より説明会の資料、会議録が送付された。

1月29日に地域住民生活等緊急支援の交付金等に関する説明会が開催され、町も出席した。

質 まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策及び企画、立案及び実施スケジュールは。

課長 第四次日の出町長期総合計画後期基本計画を踏まえ、平成27年度中に策定したい。

質 国の創生総合戦略の中に、情報支援、財政支援、人的支援と書かれている。

この人的支援制度の項目に市町村に国家公

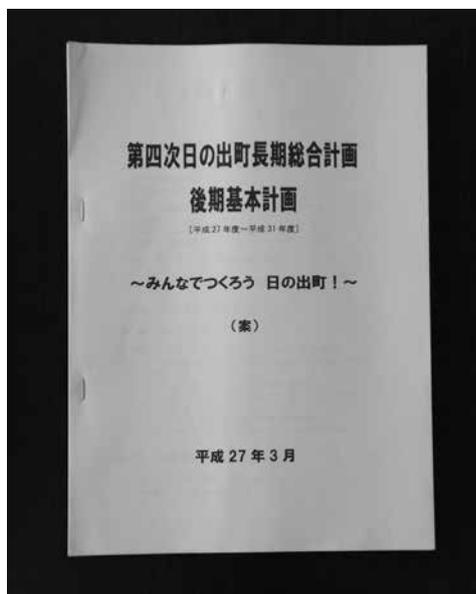
務員等を首長の補佐役として派遣する。

また、地方創生コンシエルジュ制度と書かれており、府省庁の職員を相談窓口として選任すると書かれているが、こうした制度の活用について町の考えは。

課長 人的支援については、国家公務員、大

学研究者、民間の人材を首長の補佐役として、副町長や幹部職員として登用し派遣される。派遣期間が原則2年程度ということだが、町では依頼していない。

コンシエルジュ制度は、地方版総合戦略の策定を含めた地域の地方創生の取り組みを行う場合、支援を要望する市町村に対しての相談業務のことで、今後必要に応じて、活用していきたい。



日の出町長期総合計画

東 喜 玉



がん対策を問う

質 がん検診受診結果と要精検数は。

課長 26年度胃がん623人中23人・肺がん598人中44人・大腸がん1710人中82人・子宮がん363人中6人・乳がん327人中21人・前立腺がん271人中20人である。

質 がん検診受診率の



本宿小学校

向上策は。

課長 胃がん・肺がん検診は土日を含めて実施。前立腺がんは特定健康診査と合わせて実施。大腸がん検診はすべて集団で行う特定健診時のみを、26年度から65歳以上は、各医療機関で実施できるように変更し、受診しやすい体制整備をした。な

お、26年度から女性特有のがん検診事業を見直し、受診勧奨を活用し「働く世代の女性支援のためのがん検診」を10月～3月にかけて実施している。

本宿小、給食センター建て替え計画を問う

質 今後の建築計画は。課長 平成27年度は学校施設整備計画を作成予定。本宿小学校もこの中で、整備方針、整備年度、財政計画等、具体的に計画。給食センターも本宿小の整備計画と合わせて計画したい。

防災対策を問う

質 平井川改修の現状と今後の予定は。

課長 今年度、日の出町区域内の観音橋架け替え工事に着手。並行してあきる野市内の平井川についても改修工事が行われている。観音橋架け替え工事を27年度末に完了後、順次上流側整備を進める。



青鹿和男

「災害に強いまちづく

り」を問う

質 急傾斜地・山腹崩壊・崩壊土砂流失危険個所の予防対策は。

町長 来年度レッドゾーンに指定された区域の皆様には、防災行政無線の個別受信機を設置を計画している。

質 雨水の流失抑制を図る予防対策は。

町長 地形の特性から道路改良や管理の対応により安全性の向上を図っている。

質 学校施設や一時避難場所等において、特別警戒区域として調査結果が出ている施設の対策は。

町長 大久野小学校、第4自治会館、第6自治会館の一部、第15自治会館の半分がレッドゾーンとして存在している。

大久野小学校について

では、現在、避難マニュアルを作成中。第4自治会は中野会館へ、第6自治会は、ひのでグリーンプラザへ避難を

していただく。また、第15自治会は自治会館以外の広場を設定している。なお、大久野小学校、第15自治会館

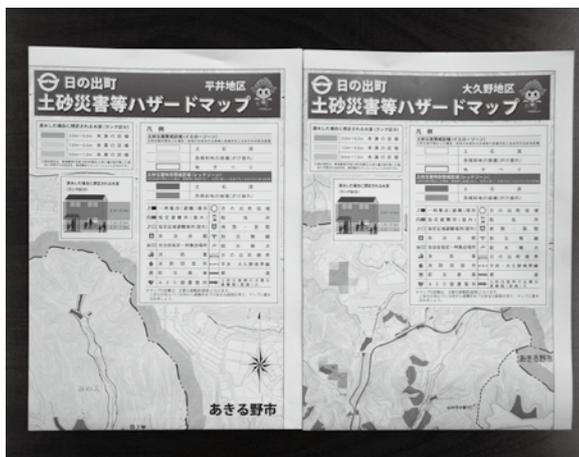
は急傾斜地法による、

東京都のハード事業の対象となることから、事業採択が受けられれば山腹の安全対策工事が行われると期待をしている。

「道場12号線の一部拡幅」を問う

質 復員が2対と狭隘のため、緊急車両等が進入できるよう拡幅できないか。

課長 生活道路としての拡幅工事を行うためには、要望書の提出と関係地権者の承諾書が必要。



土砂災害等ハザードマップ

請願・陳情は！

6月の定例会では、5月20日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

○ その他、詳しくは議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。

議会だより表紙写真募集

第174号の表紙写真につきましては、4件の応募がありました。大変ありがとうございました。

- ・ 応募期間 平成27年5月15日～6月29日 第175号に掲載予定
町内で撮影した夏をイメージした写真
- ・ 一人につき1作品応募できます。
- ・ 表紙写真応募用紙に必要事項を記入の上、作品を添えてメール、郵送又は直接事務局までご応募ください。応募用紙は、議会ホームページ、議会事務局まで。
- ・ 議会だより編集委員会が審査します。
- ・ 詳しくは、議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。

議会日誌

2月13日に、秋川流域市町村議会議員大会が日の出町役場で開催され、意見発表が行われました。



演 題 「みんなで守ろう子どもたち」
発表者 東 玉喜 議員



演 題 「里山資本主義の視点でみると」
発表者 折田 眞知子 議員

次の定例会は6月に開かれます

6月定例会日程（予定）

5月 26日（火）	議会運営委員会	10:00
6月 1日（月）	本会議（議案審議）	10:00
2日（火）	本会議（一般質問）	10:00
3日（水）	本会議（一般質問）	10:00
4日（木）	休会	
5日（金）	常任委員会	
	総務まちづくり	9:00
	厚生文教	13:00
6日（土）	休会	
7日（日）	休会	
8日（月）	議会運営委員会	10:00
9日（火）	休会	
10日（水）	休会	
11日（木）	休会	
12日（金）	本会議（議案審議）	10:00

ひので議会だより編集委員

川脇 敏徳 東 玉喜 小玉 正義
濱中 映慈 青鹿 和男 折田 眞知子
(編集委員長)

日の出町議会事務局

☎ (597) 0511 内線 363

担当者 濱中 一成

編集後記

季節外れの雪に惑わされたものの、確実に春めいてきました。皆さまからご応募いただいた表紙写真は「氷の水車」から「日の出山の山開き」に変わりました。今後の作品が大変楽しみます。皆様のご応募をお待ちしております。

統一地方選挙が今気になる話題ですが、中でも投票率が知事、道府県議選でついに40%台になってしまいました。日の出町はまだ60%台とはいえ、投票の意味を充分理解してもらえよう努力が必要なのは我々議会議員であり、近く選挙戦に向けてきちんとした取り組みをしたいと思っております。

議会だよりを通じて多くの皆様からご意見をいただきたく考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集委員 小玉 正義